

平成14年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年4月19日第1版

改 正 内 容		改 正 対 応									
指導	<p>ア 特定疾患療養指導料を算定（以下省略）</p> <p>イ 入院外分について ～ 省略 ～ と表示してそれぞれの所定点数を記載すること。なお、特定薬剤治療管理料を算定した場合は、血中濃度を測定している薬剤名及び初回の算定年月を「摘要」欄に記載し、臓器移植加算を算定した場合は、当該臓器移植を行った月日を「摘要」欄に記載すること。（抗てんかん剤及び免疫抑制剤以外の薬剤を投与している患者について4月目以降の特定薬剤治療管理料を算定する場合又は抗てんかん剤若しくは免疫抑制剤を投与している患者について特定薬剤治療管理料を算定する場合には、初回の算定年月の記載を省略して差し支えない。）また、悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定した場合は、行った腫瘍マーカーの検査名を、心臓ペースメーカー指導管理料のイを算定した場合は、ペースメーカー移植術を行った月日を「摘要」欄に記載すること。</p> <p>ウ 小児特定疾患カウンセリング料、小児科療養指導料、てんかん指導料、難病外来指導管理料、皮膚科特定疾患指導管理料（ ）、皮膚科特定疾患指導管理料（ ）、在宅療養指導料、高度難聴指導管理料、喘息治療管理料、慢性疼痛疾患管理料、小児悪性腫瘍患者指導管理料又は地域連携小児夜間・休日診療料を算定した場合は、「小児特定、小児療養、てんかん、難病、皮膚（ ）、皮膚（ ）、在宅指導、高度難聴、喘息、疼痛、小児悪腫又は地域小児」と表示して所定点数を記載すること。なお、慢性疼痛疾患管理料を算定した場合は、算定日を、小児特定疾患カウンセリング料を算定した場合は、第1回目のカウンセリングを行った月日を、高度難聴指導管理料のイを算定した場合は、人工内耳埋込術を行った月日を「摘要」欄に記載すること。</p> <p>エ 小児科外来診療料又は生活習慣病指導管理料を算定した場合は、「児外初、児外再、児内初、児内再、生外又は生内」と表示して所定点数を記載すること。また、初診料の紹介患者加算又は初診料、再診料若しくは外来診療料の時間外加算、休日加算、深夜加算若しくは時間外加算の特例を算定した場合は、（以下省略）</p>	<p>「慢性疼痛疾患管理料」は算定日を表示する</p> <p>レセプト電算処理に対応するため、レセプト作成処理の中で次のレコードを作成する コメントコード：810000001 名称：慢性疼痛疾患管理算定日 日 の部分に算定日を編集する</p> <p><例> 3日に算定した場合</p> <table><tr><td colspan="4">* 慢性疼痛疾患管理料</td></tr><tr><td>慢性疼痛疾患管理算定日</td><td>3日</td><td>130×</td><td>1</td></tr></table>		* 慢性疼痛疾患管理料				慢性疼痛疾患管理算定日	3日	130×	1
* 慢性疼痛疾患管理料											
慢性疼痛疾患管理算定日	3日	130×	1								

平成 1 4 年度診療報酬改定対応（レセプト）

日医標準レセプトソフト

平成14年 4 月 1 9 日第 1 版

	改 正 内 容	改 正 対 応
	<p>オ 入院分について ~ 省略 ~ 人工内耳埋込術を行った月日を「摘要」欄に記載すること。</p> <p>薬剤管理指導料を算定した場合は、当該算定の対象となった指導を行った日を「摘要」欄にそれぞれ記載すること。また、麻薬管理指導加算又は退院時服薬指導等加算を算定した場合は、当該加算を加算した点数を記載し、「摘要」欄に指導を行った日を記載するとともに、（薬管）に併せて（麻加）又は（薬加）と表示すること。</p> <p>カ 入院外分について開放型病院共同指導料（ ）（以下省略）</p> <p>キ 診療情報提供料（A）、（以下省略）</p> <p>ク 薬剤情報提供料を算定した場合は、（以下省略）</p> <p>ケ 傷病手当金意見書交付料又は（以下省略）</p> <p>コ 結核予防法による公費負担申請（以下省略）</p> <p>サ 入院分について入院栄養食事指導料、（以下省略）</p>	